

【20代意識調査】緊急事態宣言の発出で、転職において意識が変化した点は

「テレワークの有無を確認するようになった」が最多。

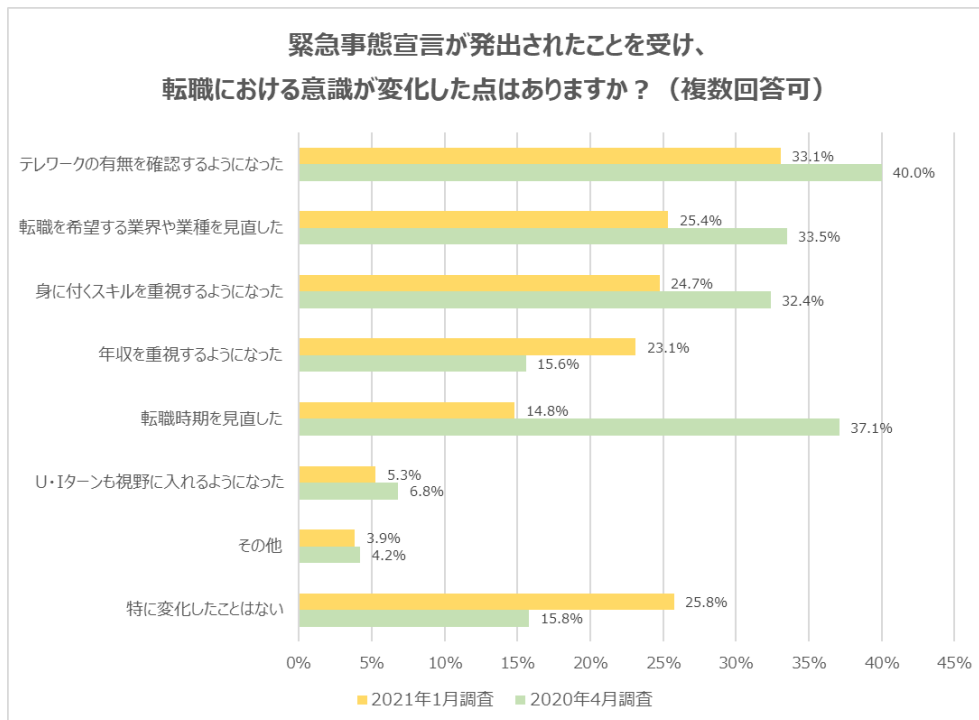
「転職で年収が下がる可能性」を感じている20代転職希望者が6割を超える。

株式会社学情は、20代の仕事観や転職意識をひも解くために、アンケート調査を実施しました。今回は、11都府県を対象にした緊急事態宣言を受け（※対象地域は2021年1月26日時点。アンケート調査開始時の対象地域は1都3県）、緊急アンケートを実施しました。緊急事態宣言の発出で、転職において意識が変化した点は「テレワークの有無を確認するようになった」が33.1%で最多。「テレワーク可能な、オンライン対応の進んでいる企業で働きたいという気持ちが強くなった」「テレワークなど、柔軟な働き方ができる企業は志望度が上がる」などの声が寄せられました。また、「転職で年収が下がる可能性」を感じている20代転職希望者が、60.9%に上ることが明らかになりました。

【TOPICS】

- (1) 緊急事態宣言の発出で、転職において意識が変化した点は「テレワークの有無を確認するようになった」が最多
- (2) 「転職において年収が下がる可能性があると感じる」の回答が60.9%

(1) 緊急事態宣言の発出で、転職において意識が変化した点は「テレワークの有無を確認するようになった」が最多

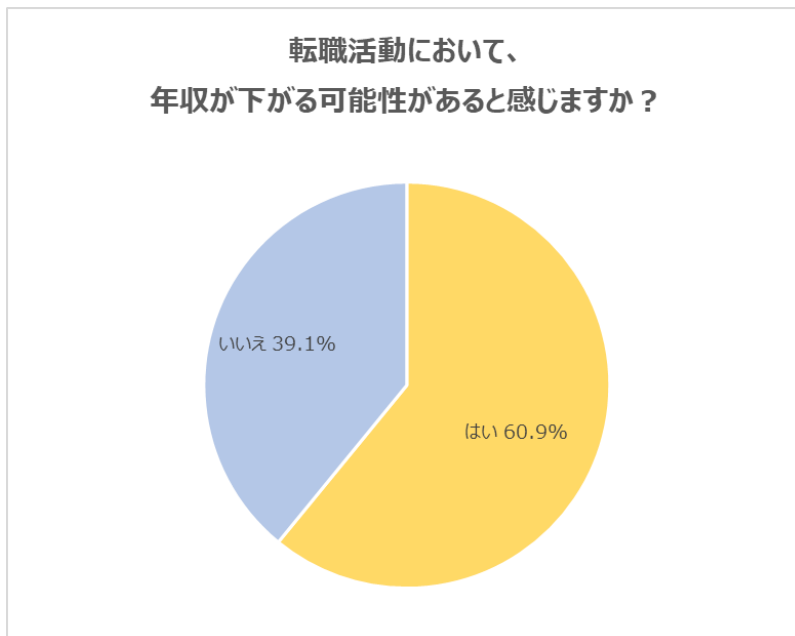


緊急事態宣言の発出で、転職において意識が変化した点は、「テレワークの有無を確認するようになった」が33.1%で最多となりました。「テレワーク可能な、オンライン対応の進んでいる企業で働きたいという気持ちが強くなった」「テレワークなど、柔軟な働き方ができる企業は志望度が上がる」などの声が寄せられました。次いで、「転職を希望する業界や業種を見直した」25.4%、「身に付くスキルを重視するようになった」24.7%と続きます。

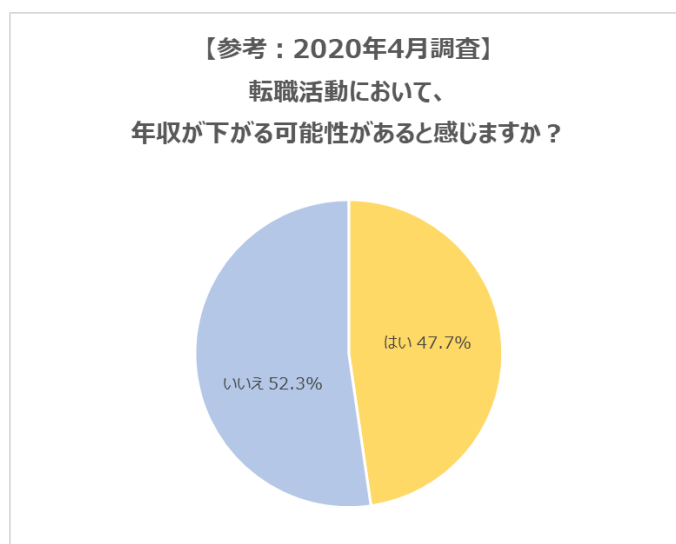
「転職時期を見直した」の回答は14.8%と、前回の緊急事態宣言が発出された2020年4月調査(37.1%)

よりも、22.3ポイント減少。「厳しい状況のなかで転職活動を成功させることができれば、その後の自信になると思う」「Web面接などを活用して選考に参加したい」といった声が挙がりました。Web面接やWeb説明会などを導入し、オンラインで採用活動を継続する企業が増えていることが、「転職活動の継続」の背景にあると推察されます。「特に変化したことはない」25.8%も、2020年4月調査（15.8%）より、10.0ポイント増加しました。

（2）「転職において年収が下がる可能性があると感じる」の回答が60.9%



「転職活動において、年収が下がる可能性があると思いますか？」の質問では、60.9%が「年収が下がる可能性があると思う」と回答。3人に2人は、「年収が下がる可能性」を感じていることが分かります。前回の緊急事態宣言が発出された2020年4月調査（47.7%）と比較すると、「年収を下がる可能性」を感じている20代転職希望者が増加していることが伺えます。



■調査概要

- ・調査対象：[20代専門]転職サイト「Re就活」へのサイト来訪者
- ・調査方法：「Re就活」にアクセスしたサイト来訪者に、アンケートのポップアップを表示
- ・調査期間：2021年1月8日～2021年1月19日
- ・有効回答数：493名

東証一部上場

学情

